

“なにわの鉄人チュー”

なにわの鉄人



鉄人・牧原道夫代表

“トライアルの目指す星はあそこにあ〜る!!”
ってなワケで天を指さす牧原社長。そのゴキゲンなパフォーマンスは、固〜い意志とクルマに対して真剣に取り組み姿勢の表れといえるだろう。

以前、某カー雑誌で牧原社長がフェアレディZで300km/hを叩き出したという記事を見て感動したっていう中村サン。「当時はクルマ業界のコトを何も知らなかった」らしいのだが、雑誌で見た牧原社長に心ひ



トリアル南大阪
(☎0722-54-7039)
中村知二 (27歳)

中村知二 昭和42年7月10日生まれ O型 トリアル開発部に所属。京都職業訓練短期大学自動車科卒業後、トリアルへ。AE86、KP61を経てマークIII筋(途中1度だけクレストに浮気アリ)。今や「マークIIIといえば中村」が定説?となっている。「ホンネを言うと、自分のクルマはオートマがいい」とか。「ノーマル車の良さがわかるようになって、ノーマルのいい所を活かしながらトータルチューニングができるようになった」そうで、これからますます腕に磨きがかかりそう。撮影では、「(足が)ショートストロークで2人とも速い」とコメント。ユーモアでも社長を越えられるか?

かれるものを覚え(決してへんな意味じゃない)、ダメもとを承知の上で“働きたい”と電話してみた。すると意外や「履歴書持ってきたら」の返事。「2時間ほど世間話をして、内定を頂いたんです」。
が、実は牧原社長はもちろん、誰にでも

来社をOKしていたワケじゃない。「電話をしてきても、半分くらいは断わっていた。顔が見えない分、話し方が良く分かるから」……つまり、中村サンは電話で第一次の試



銭谷自動車
(☎0722-47-0001)
前田伸司 (26歳)

前田伸司 昭和43年2月13日生まれ A型 銭谷自動車フルチューン課々長(名刺にはない肩書。取材時に即席で作ってもらった。課員ゼロというのが、ツボ)大阪産業大学短期大学部自動車工業科卒業後、自動車ディーラーへ就職。何度かの転職後、銭谷自動車へ。愛車はヤンキー仕様のクレストを経てスカイラインRSターボに乗ること6年(CRでもお馴染み)。「これ以上速くしたらヤバイ」というクルマに愛着を感じている。「130ZのボディにインフィニティQ45のエンジンを積みたいので、廃車のインフィニティがあったら、電話下さい」とのこと。究極のマシンを目指すか?

くのもイヤやったけど、朝も夜も時間に関係なしに働くようになったんやから…。
徹夜もザラ、オシッコに血が混じるコトも当たり前……それでもこの仕事を辞めたいとは1度も思わなかったとか。
「銭谷専務はワシらがいくらガンバっても抜けへん人やね。メチャクチャ勉強家やから何でも知ってはる。これからの10年間で30年分勉強したら追いつくかもしれへんけど……」、現在、無我夢中でチューニングに熱中する前田サン。RB26DETT+TD08を搭載する愛車DR30は、CR11月号のゼロヨンでも11秒060を叩き出すモンスターマシンに仕上がっている。

銭谷専務曰く、「ここ2、3年でグッと成長したけど、まだまだ勉強の時期。これからは人との違いを見つけて、自分なりのセンスを磨いていって欲しいね」と成長ぶりを認めながらもシビアなコメント。これを受けた前田サンは「この頃はあのショップには負けられへん!!」っていう気持ちが強くなりました。速いだけでなく、お客サン



▲キビシ〜い銭谷専務が前田サンに「技術的にはある程度のレベルまでできたかな」とお褒めの言葉。が、すぐさま「まだまだコレからやで〜」と気合いを入れるのであった……

最初はお客サンとして銭谷自動車に通っていた前田サンが、銭谷専務からの“誘惑”に引き寄せられ、スタッフとして働き始めたのは6年前。当時を振り返る前田サンはこう語る……。「ココへ来て人生観が変わりましたヨ。それまでは朝起きて仕事へ行